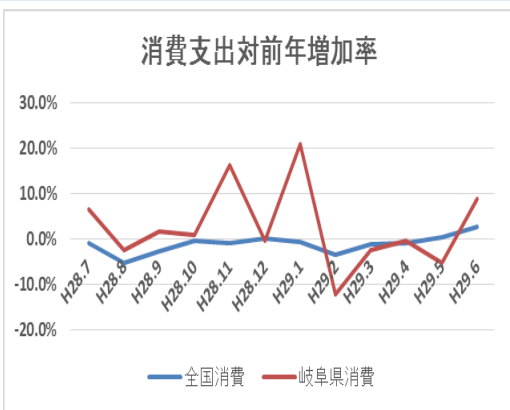


地域経済動向調査レポート 2017年 第1号

本レポートは、経済産業大臣の認定を受けた経営発達支援計画に基づき作成・発刊致します。地域の商工業者様が経営に有効活用できる情報を当商工会が収集分析、提案して参ります。掲載内容についての詳細な内容、具体的な経営活用の手法についてご相談がございましたら、お気軽にお問合せください。

▶岐阜県内の消費動向速報



平成 29 年に入り消費活動が減速気味となっていた岐阜県の消費動向ですが、平成 29 年 3 月を境に消費は上向き傾向にある模様です。特に 6 月に入ってから増加率は全国水準を大きく上回っています。今後消費活動の拡大が期待されます。

出典：岐阜県環境生活部統計課 (加工編集)

▶地域別景況予報

地域名	総合指数	個人消費	生産活動	設備投資	企業収益	資金需要
岐阜	☀️	☁️	☀️	☁️	☀️	☁️
西濃	☁️	☁️	☀️	☁️	☀️	☁️
東濃・加茂	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️
飛騨・郡上	☀️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️

岐阜県の景況感は全体の傾向として改善傾向にありますが、内訳を見ますと『生産活動』の伸びが大きい反面、『個人消費』が伸び悩んでいます。自動車部品関連など製造業は好調ですが、消費者と直接関わる小売・飲食業等は不調であるなど業種によって景況感のバラつきが出ています。

そのような中、西濃地域では生産活動や企業収益の水準が高い一方で、課題の個人消費は低く全体としての景況も低い傾向にあります。

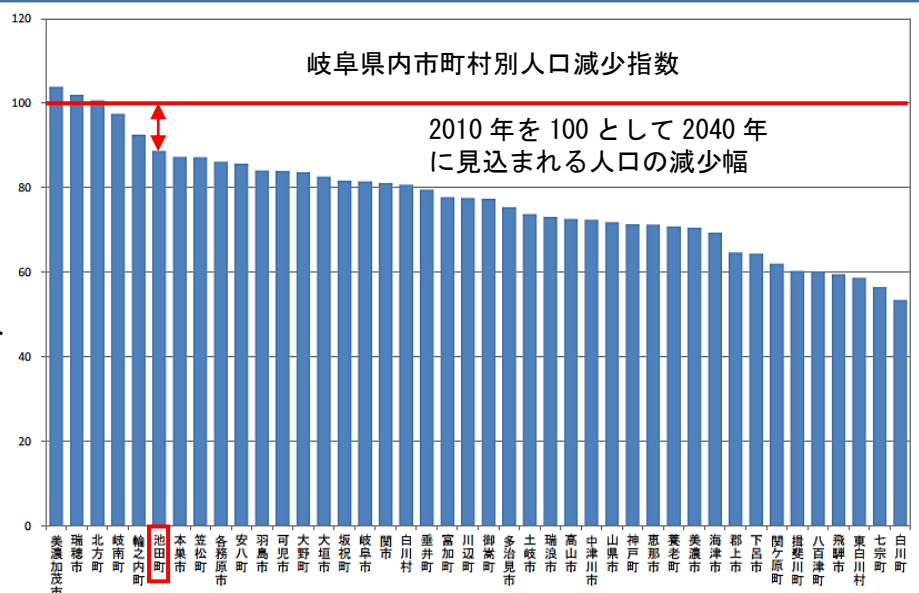
出典：(株)OKB 総研 K-REX (公開値の加工編集を施しております)

▶ 私達の町の経済情報

2040 年、日本の町の半分が消滅の危機に直面する！？

このような衝撃的な内容が 2014 年に政府から発表されました。大都市一極集中、少子高齢化の影響で地方の人口は大幅減少すると予測されています。そこで今回、岐阜県の市町村別人口の減少指数（2010 年を 100 とした 2040 年の人口指数）をご紹介します。すると、西濃地域では全ての町が減少し、特に山間地域の町では大幅に人口減少が進むことが見て取れます。このような経営環境の変化を見据えることも大切です。

出典：岐阜県環境生活部統計課



▶商工会トレンド発掘隊 VOL.1「スマートマット」～軽くなったら自動受注！～

第一回トレンド発掘隊では、通信機能を備え、商品の自動購入ができる重量計「スマートマット」に着目していきます。この「スマートマット」の上に消耗品を載せておくと、使用して重量が軽くなるとユーザーに購入許可のメールを送り、加えて、独自の機械学習アルゴリズムにより、残量、価格、送料などを加味して最適なショップを提案してくれます。

例えばオフィスに設置して水やコピー用紙など載せておくと、軽くなったら簡単に注文できるので、水やコピー用紙切れに陥ることがない。飲食店なら材料や水などを載せておけば材料の在庫管理を省力化できる。工場なら特定のパーツを載せておき、数が減ったら注文するといった使い方ができる。こうした BtoB だけでなく、テーブルや棚にこの仕組みを内蔵し、その上に置いた食品や化粧品などの減り具合に応じて注文するといった形で、家庭内での使い方も想定している。現在は試作品によるテストを行い、量産に向けた準備に入っており、実現すれば、買い忘れ防止や消耗品の残りを気にせず使えるようになりそうです。事業所の皆様、是非この一大トレンドに着目し、商品開発や活用等してみてはいかがでしょうか？！



▶最先端技術紹介コーナー

NTT の光投影技術「変幻灯」を活用
世界初の“動くポスター”



NTT が開発した変幻灯技術のライセンス提供を受け、多くの企業が活用に取り出しています。POP や看板、ポスターの商業利用が進展しています。変幻灯は止まっている写真が動いているような印象を与えることができる人間の錯覚を利用した技術です。同技術の普及により企業の販促活動の在り方が大きく変わるかもしれません。

▶やってみよう財務分析！！第1回「売上高総利益率」

$$\frac{\text{売上総利益}}{\text{売上高}} = \text{売上高総利益率}$$

売上総利益は企業の儲けの大元であり、売上総利益率は売上に対するその儲けの割合を表します。仕入れた商品にどれだけの利益を上乗せして販売できているか表す指標といえ、高ければ高いほど、付加価値の高い商品販売ができている状態と言えます。業種によって売上総利益率の水準は異なってきます。下記業種別の利益率(小企業)と比較して自社の利益率が高いのか低いのかを判断する参考値としてみてはいかがでしょうか。

日本政策金融公庫 小企業の経営指標調査「売上総利益率」

製造業	36.0%	卸売業	29.1%
小売業	37.8%	飲食業	64.2%

商工会では財務分析を初めとした経営分析の支援を実施致します。どうぞお気軽にお声かけください

▶経済コラム VOL.1「有効求人倍率の裏側」

経済コラム第一弾は、有効求人倍率の裏側と銘打ちコラムを掲載します。巷では有効求人倍率は改善傾向と言われますが、それは何を意味するのでしょうか？

求人倍率は企業の求人数÷求職者数で表わされる数値です。つまり高ければ高いほど求人が集まりにくい状態という事です。改善傾向と言われると無意識に良い事だと認識してしまいがちですが、経営視点で見ると人手が確保できず儲かる商売も儲からなくなってしまうケースが発生する事が想定できます。

全国の求人倍率は 1.56 倍。隣記事の岐阜県の全体の求人倍率は、1.8 倍を超えており全国平均と比べて高い水準である事がわかります。

企業の人材獲得も非常に厳しい時代になりました。有効な求人方法を一緒に検討していきましょう。

▶ハローワーク別有効求人倍率速報

地域名	H29/6	H29/7	H29/8	H29/9
岐阜	1.91	2.02	2.06	2.12
大垣	1.41	1.50	1.66	1.65
揖斐	1.04	1.04	1.09	1.13
多治見	1.77	1.84	1.96	1.96
高山	1.59	1.69	1.69	1.61
恵那	1.30	1.54	1.47	1.59
関	1.40	1.48	1.56	1.67
岐阜八幡	1.25	1.27	1.12	1.36
美濃加茂	1.18	1.17	1.21	1.23
中津川	1.59	1.66	1.75	1.82
岐阜県	1.66	1.75	1.82	1.85

特に大垣地域が高い傾向となっており、企業の求人難が悪化する恐れがあります。